

豊岡こうのとりのプラン全体構想図

2つの視点と6つの柱で9年間の学びと育ちを支え、生きる力を育む「豊岡こうのとりのプラン」

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成
～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する
ローカル＆グローバル学習の時間

ふるさと教育

「コウノトリ」「ジオパーク」
「産業・文化」を共通の学習
課題にし、豊岡の「ひと・も
の・こと」に学び、ふるさと
豊岡を自分の言葉で語り誇れ
る力の育成を目指します。

英語教育

小学校1年生から、外国語指
導助手のネイティブな発音に
触れる機会を通して、英語遊
び⇒外国語活動⇒外国語科へ
と9年間の系統性と連続性の
ある学習で、英語でふるさと
のこと自分のことを語る力を
高めます。

コミュニケーション教育

グローバルコミュニケーショ
ンスキルの獲得を見据え、性
別や年代を超えて、対等な関
係の中で自分を主張し、他者
を理解できる基礎的なコミュ
ニケーション能力の育成を目
指します。

子どもたちの生きる力を高め、
小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子の育成

系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する
学習指導と生活指導

授業づくりと学級づくりの一体化

授業における5つの徹底・継続実践事
項を軸にした「分かる授業」と、肯定
的な人間関係を構築する学級づくりを
一体化させ、“授業で子どもに寄り添
い、授業で学級をつくる”ことを目指
します。

引継ぎ連携システムの強化

子どもの声に耳を傾け、子ど
もたちの願いや課題を教職員
が確実に共有化し引継ぐこと
で、子どもに寄り添う支援・
指導を行います。

家庭・地域との連携

「家庭でしつけ、学校で学
び、地域で育てる」の視点
で、学校・家庭・地域が一
層緊密に連携することで、
非認知能力を支えます。

3つの教育課題（不登校・学力・特別な支援が必要な
子どもたちの教育的ニーズへの対応）の改善

豊岡こうのとりのとりプラン内容シート

担任制		学級担任制				教科担任制				
学年		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
指導区分		前期				中期			後期	
各指導区分の位置づけ と目指す学びの姿		9年間の一貫教育の土台づくりの時期として、基礎的基本的な学習内容の確実な定着を学級づくりと授業づくりの一体化による指導で行う。 また、家庭との緊密な連携により基本的な学習習慣と生活習慣の定着を図る。 ◇“好きになる”“やってみる”“聴ける”子 ・興味を持つ、疑問を持つ、考えを持つ ・自分で試す、自分で決める、仲間と話し合う				小学校から中学校への滑らかな接続が行えるよう、小学校5・6年生では教科担任制を導入する。また、異校種教師による授業や学習支援を行う。引継ぎにおいては、子どもに寄り添った実効性のある学習指導と生活指導を行うため小中連携システムを活用する。 ◇“つながり”“伝えること”を意識できる子 ・話し合って考え、決める ・他者と協働して課題解決を目指す			9年間の一貫教育の仕上げの時期として、生きる力の高まりを子どもが自覚し、これからの自分に期待がふくらむ進路指導を家庭との緊密な連携のもとに行う。 ◇“責任と可能性”を自覚する子 ・誰にどう伝えるのかを意識する ・協働的な活動を創り出す	
ローカル＆グローバル学習の時間	ふるさと			3年コウノトリ（15） 4年産業文化（10）		5年コウノトリ（15）・6年シオ（10）・ 中1産業文化（10）			中2産業文化（10）・ 中3コ、ジ、産文まとめ（15）	
	英語	各学年年間10時間 英語遊び		各学年年間35時間 外国語活動		各学年年間70時間 外国語科（英語）		各学年年間140時間 外国語科（英語）		
	コミュニケーション	年間7時間（ロ&グ）								
		「めざすコミュニケーション能力の視点とその活動例一覧表」の視点を活かして、日常の学習・生活の指導を行う								
学習指導と生活指導	授業づくりと学級づくりの一体化	一貫ブロックごとに計画・実践								
	引継ぎ連携システムの強化						7'ロ-チ&スタートカリキュラム			
	家庭・地域との連携	一貫ブロックごとに計画・実践								